

# ストーリー5・怪異の王2

◆フェードイン…◆99…触手のぐちゃぐちゃ音（バックグラウンドで継続）

／怪異の王のアジトに場面は戻る

（怪異の王） …おかえり

（怪異の王） 思い出してきたかい？

（怪異の王） そうそう、君はあの二人とケツコンしてるんだよ

（怪異の王） ケツコン、って、ニンゲンたちが

（怪異の王） 一緒にいるのを他人に許可してもらおうヤツだろ？

（怪異の王） 経済的な特典を得るために

（怪異の王） （馬鹿にしたように）知ってる知ってる！

（怪異の王） 僕は怪異だけど、人間のことが好きだから、

（怪異の王） よく勉強したんだよ

（怪異の王） ん？普通は一人としかしないの？

（怪異の王） いいじゃん、彼女たちの頭もちょっと弄<sup>いじ</sup>っておいたから

（怪異の王） 気にしてないだろ？

（怪異の王） 二人とも君のこと好きだったみたいだし

（怪異の王） 君も、二人とも、好きで悩んでたんだろう？

（怪異の王） 僕はねえ、人間たちの幸福感とか

（怪異の王） 絶頂とか絶望とか恐怖とか、

（怪異の王） そういった感情を食べるのが好きなんだ

（怪異の王） この巣<sup>す</sup>…マンションには

（怪異の王） そのために眷属<sup>けんぞく</sup>をコレクションしてる

（怪異の王） それでね、

（怪異の王） 君も、気づいてなかったらうけど、

（怪異の王） 君も僕の種類なんだよ？

（怪異の王） （静かに）思考の動きを感じる能力…だっけ

（怪異の王） （とても嬉しそうに）違うよ！

（怪異の王） 君の本質は「感情を修正する能力」なんだ

（怪異の王） 感じるのはおまけみたいなもんさ

（怪異の王） 普通、僕に敵対したのは殺しちゃうんだけど、

（怪異の王） 君は面白くて使えそうだからね

（怪異の王） おまけであの二人も生かしておいてやったんだ

（怪異の王）　　優しいご主人様に、感謝だね？

（怪異の王）　　おっと、またぼんやりしてきた？

（怪異の王）　　病み上がりだからね、仕方ないさ

（怪異の王）　　そう、目を閉じて

（怪異の王）　　もう一回夢でまどろんでごらん…

◆07 触手音、両耳に入ってくる

◆フェードアウト